

福島大学演劇研究会 平成22年度卒業公演

★ 3.11 リベンジ

君影草は しまじく

母を もつて

あかい めだまの マゼリ
ひろげた わしの つばサ
あおい めだまの こいぬ
ひかりの へびの とぐろ



11/27 日

【昼の部】13:00~
【夜の部】18:00~
(各回30分前開場)

AXC (アックス) 6F
多目的ホール (STUDIO WGS 84)

一般500円 学生 (高校生以上) 200円
(中学生以下または被災証明書持参の方 無料)

お問い合わせ kimikage.311@gmail.com

脚本・演出…清野和也



— 3月11日。
公演中に被災し、
中止となった幻の舞台。再演決定。

こんなや異装の弦月のした
鶏の黒尾を頭巾にかざり
片刃の太刀をひらめかす

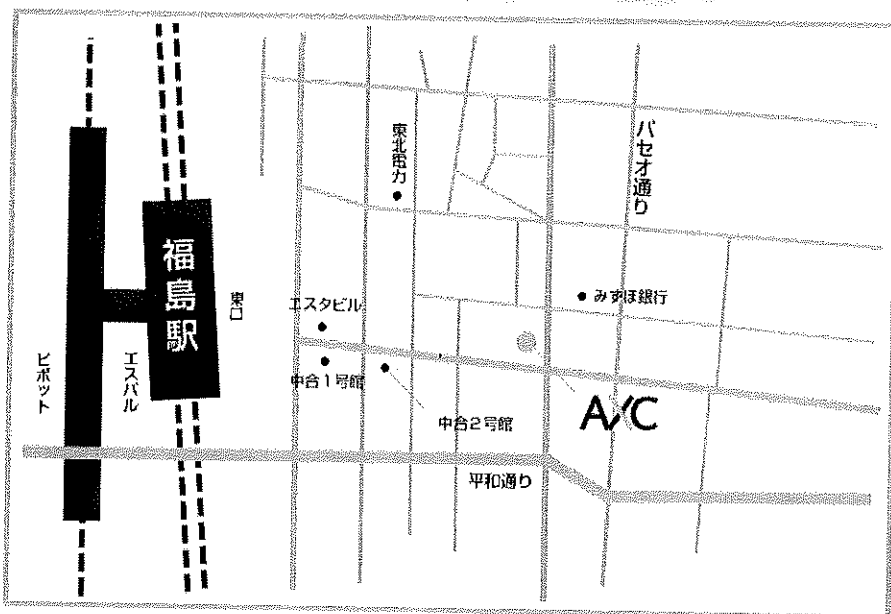
それは平安に都が遷って間もない頃のお話。
大和朝廷は急速にその覇権を拡大。
陸の奥地に住む蝦夷もまた、
大和朝廷との攻防を繰り広げていたが
征夷大將軍・坂上田村麻呂により
蝦夷の長は平安の都に連れてこられることとなる。
死者の影が見える少女『蝦夷の神』ノンノもまた
光り輝く京の都を訪れる。
彼女がそこで見つけたのは、
かつて陸の奥地で会った大和の皇子、
サワラの影だった。

日本史上唯一女性の名が残る乱「薬子の変」を下敷きに、宮沢賢治の作品のイメージを織り交ぜた異色の歴史ファンタジー作品。

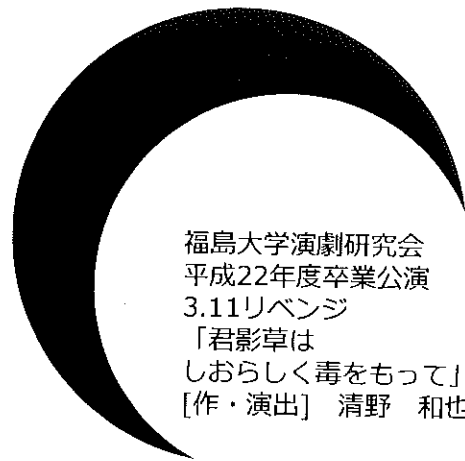
3.11を乗り越えた福島大学演劇研究会がお送りする、光と影、毒と華の物語。



宮澤賢治 × 平安時代



福島大学演劇研究会
平成22年度卒業公演
3.11リベンジ
「君影草は
しおらしく毒をもって」
[作・演出] 清野 和也



【スタッフ】
演出・・・清野和也
舞台監督・・・茨木祥子
助舞台監督
舞台美術・・・鈴木賢 増田拓介
音響・・・阿部悠乃
照明・・・丹野春菜
小道具・・・二夕村超
・・・高橋大貴
・・・鈴木優斗
・・・加藤桃子
・・・那須大洋
・・・熊田圭祐
衣装デザイン
・・・川島ゆかり
・・・熊田圭祐
衣装制作
・・・川島ゆかり
・・・茨木祥子
・・・小林啓子
メイク
・・・村上由貴
殺陣指導
・・・大信田勇太
振付
・・・茨木祥子
・・・鈴木里実
制作
・・・茨木祥子

【出演】
茨木祥子
清水純也
鈴木里実
熊切沙也加
鈴木優作
浅川宣行
鈴木優斗
蛭田航平
清野和也
村上由貴
押切みちる
古内友紀子
川島ゆかり
熊田圭祐
那須大洋